

法人名	姫路医療生協
事業所名	小規模多機能ホーム香寺

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R4年 12月 27日(: ~ :)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	国府 長田 藤原久 木村 高松 壺坂 藤原由 後藤 寺口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	1人	人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 日々の申し送り・部会で利用者の知っている情報を職員間で共有する。 家族とは送迎時や電話、連絡ノートにて密にコミュニケーションを図っていく
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 個人の情報シートを作成することで情報共有ができ、簡潔に申し送りできた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	5	1		9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	6	1		9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	4	1		9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	6	1		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 利用者個人のシートを作成しこまめに記入することで職員間で情報共有できている 家族様にも連絡帳や送迎時に様子を伝える様にしている

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 家族様との関わりが少なく家族のケアまで出来ていない

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時や訪問時など家族とのコミュニケーションを図る時間を確保し心のケアも行っていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4 年 12 月 27 日(: ~ :)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 国府 長田 藤原久 木村 高松
壺坂 藤原由 後藤 寺口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	1人	人	9人

前回の改善計画
・部会で利用者一人一人のケアカンファレンスを行い、目標をしっかりとした把握をすること ・利用者にとってどのような支援が良いかその都度話し合う必要がある
前回の改善計画に対する取組み結果
・職員間でその都度支援方法について話し合い実施することができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	4	4		9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	4	3		9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	2	5		9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	6	2		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・部会で毎月利用者様をピックアップしケアカンファレンスを行うことで問題点、解決策など方向性を決め進める事が出来ている。 利用者様の状態や必要な支援について職員同士で共有できている

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・～したいという利用者様一人一人の目標を把握出来ておらず、目標に沿った支援が提供できていない ・一人ひとりの利用者様とゆっくり時間をかけて話すことが出来ていない為、目標を聞き出すことが出来ていない

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・部会で定めた目標に対しての振り返りの時間を設ける

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4 年 12 月 27 日 (: ~ :)

3. 日常生活の支援

メンバー 国府 長田 藤原久 木村 高松
壺坂 藤原由 後藤 寺口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	3人	人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・自宅での生活を重視して、支援していく必要がある・知った情報を職員間で共有し、利用者の声にならない声を上げて把握していく
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・自宅で過ごして頂けるように職員同士で意見を出し合い利用者様にとってより良い方法を考える事が出来た

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	1	7		9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	6			9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	2	4		9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	6	1		9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	7	1		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・利用者の体調の変化等その都度申し送りし、その時の状況に応じた対応が出来ている・個人の情報シートと管理日誌の見直しで職員自身確認し把握することに努めている

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・意思表示の少ない利用者様の本心に気が付きにくい・利用者様に対する職員の認識の差があり統一したケアが出来ていない

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・「できる」「できない」という本人の能力に合わせ統一した介護、声掛けを行う必要がある・利用者様の生活歴や既往歴をもう一度職員間で共有し利用者の思いに寄り添った支援を行う必要がある

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4年12月27日(: ~ :)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 国府 長田 藤原久 木村 高松
壺坂 藤原由 後藤 寺口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	6人	3人	人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍でも、地域との関係が切れない様に支援する・知っている情報を職員間で共有し理解を深める
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・地域との関係を保つための具体的な支援が実践できていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	4	3		9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	3	5		9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	4		9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	7		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・送迎時や訪問時など利用者様とのコミュニケーションから自宅での過ごし方やこれまでの生活状況を聞き出し支援につなげる事が出来ている・緊急性がある時はデイ、ショート、ヘルパーを増やし対応できている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・送迎時等ご近所の方に会えば挨拶をするがその程度の関わりしか出来ていない・民生委員の役割について理解できていない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・部会で具体的に地域に対して支援できることを挙げ実践できるように取り組む	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4 年 12 月 27 日 (: ~ :)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 国府 長田 藤原久 木村 高松
壺坂 藤原由 後藤 寺口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	4人	4人	人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> どのような地域資源があるか活用に向けて話し合う 通い、訪問、宿泊が適切に提供できているか部会で話し合う必要がある
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源について理解できていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	1	6		9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	6			9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	5	1		9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	6	1		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 急な入院、退院後の不安定な状態の時など入所対応、ヘルパー朝夕対応などその都度利用者様の状態に合わせて適切にサービスの提供が出来ている 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> デイ、入所をもっと増やして欲しいと希望あるが全員にはできない 地域の資源を理解できていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 地域資源についてどのようなものがあるか、地域資源を活かせる取り組みについて部会で話し合う必要がある 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4年 12月27日 (: ~ :)

6. 連携・協働

メンバー 国府 長田 藤原久 木村 高松
壺坂 藤原由 後藤 寺口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	3人	1人	8人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍の為地域イベントに参加できなかったが香寺新聞を作って地域の方に見てもらえるような活動をしていく・地域の学生ボランティア等来てもらえるように部会で話し合う
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍ということもあり実際に地域の方にかかわる機会が少なく実践することが難しかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等) の他事業所) との会議を行っていますか?		1	2	5	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1	2	5	8
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?			3	5	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?			3	5	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・地域新聞を発行し地域の方に香寺を知って頂けるきっかけ作りが出来た。香寺を知って頂くきっかけ作りにもなるので定期的に発行していく	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍の為地域との交流の場がない・地域とのやり取りが所長にまかせっきりになっている部分がある	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・コロナが落ち着いてきたらボランティアの受け入れ等話し合う・地域との関係が途切れないう引き続き地域新聞の発行を行う	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4年 12月 27日(: ~ :)

7. 運営

メンバー 国府 長田 藤原久 木村 高松
壺坂 藤原由 後藤 寺口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	7人	人	8人

前回の改善計画	
・地域の方が来られる機会が少ないので、地域の方に知ってもらう・来所してもらいやすい環境を作る為の話し合いを行う	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・香寺に興味をもってもらうため地域新聞や相談受付中の張り紙を作成することができた	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	2	6		9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	1		9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	4		8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2	6	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域の方や利用者様の家族からの意見はその都度職員間で共有し対応出来ている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナ禍ということもあり、地域との協働の場面がなかった	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域の方に知ってもらえるよう地域新聞やパンフレット作成を通して関わりを増やしていく	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4年12月27日（： ～ ： ）

8. 質を向上するための取組み

メンバー 国府 長田 藤原久 木村 高松
壺坂 藤原由 後藤 寺口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	3人	2人	2人	9人

前回の改善計画	・コロナ禍の為研修に行くのが難しかった。リモート等で参加し、学んだことは部会で共有する
前回の改善計画に対する取組み結果	・研修に参加した職員が学んだことを部会にて共有できている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	5		1	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	2	4	1	9
③	地域連絡会に参加していますか		1	2	5	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2		4	2	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・リモートでの研修だったが参加した職員が学んだことを他の職員に共有することができた ・ヒヤリハット、アクシデントレポートを毎月部会で振り返り、現状把握、改善点を検討している

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・地域の連絡会に参加できていない ・研修に参加出来ている人とできていない人に分かれている

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・リモート研修等あれば積極的に参加する ・研修で学んだことを日々の業務に取り入れていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 年 月 日 (: ~ :)

9. 人権・プライバシー

メンバー 国府 長田 藤原久 木村 高松
壺坂 藤原由 後藤 寺口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	人	人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・部会で人権・プライバシーについての勉強会を行う・部会で話し合いの場を設け、職員の心のケアをしていく
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・部会で定期的に人権の勉強会を行い理解を深める事が出来た

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	1			9
②	虐待は行われていない	7	1	1		9
③	プライバシーが守られている	7	1	1		9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	4	1	2	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	4			9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・利用者様の尊厳を大切に、一人ひとりのニーズに応じたケアができる様に心がけている・部会で人権、尊厳について勉強し理解を深める事が出来た

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・忙しさの中でつい、「ちょっと待って」とスピーチロックをしてしまう事がある・成年後見人制度についてしっかりと知識がない

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・成年後見人制度について理解できるよう勉強会などを通して学んでいく・職員同士でその都度注意しあい言葉遣いを徹底していく

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」2023 総括表

法人名	姫路医療生協	代表者	西村 哲範	法人・事業所の特徴	小規模多機能ホームの理念「一人ひとりに寄り添う 地域に寄り添う」 介護が必要になっても住み慣れた我が自宅や地域の中で家族や親しい人たちと共に、最後まで自分らしく過ごしていただけるように、当事業所は、利用者の思いや家族のニーズに合わせ、柔軟にサービスを組み在宅生活を支援いたします。
事業所名	小規模多機能ホーム香寺	管理者	大野 郁美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	2人	人	1人	1人	人	1人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			常勤スタッフ全員で取り組んでいる。改善計画が立てられており自己評価されている	
B. 事業所のしつらえ・環境	香寺便りを使って、事業所の情報発信し特徴を伝えていき、地域の方との繋がりをつくる	香寺支部・香寺地域に「香寺便り」を配布・発信した。	香寺地区には、まだまだ知れ渡っていない。地域・香寺支部・公共施設に「香寺便り」を回覧・貼りだして頂ける事になった。	3か月に1回事業所の特徴を「香寺便り」で発信していく。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナ禍でも幅広い年齢層が参加できるボランティア・レクリエーション活動の発信をしていく	日ノ本学園・地域からボランティアのお声掛け頂いたがコロナ禍で開催出来なかった。	ふれあいサポートに登録してみても、ボランティア受け入れをしては等話し合いができた	短時間でも、ボランティアを受け入れいく体制を作っていく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナ禍でもできる限り地域の活動に参加し近隣の方との関わりを深めていき、つながりをつくっていく	コロナ禍で参加出来なかった	コロナ禍で事業所・近隣住民との関わりを深めることができません。	地域の活動に利用者様と参加し、関わりを深めていく
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議では、他の職員も今後参加し地域の活動を知っていき、つながりを深めていく	11月の運営推進会議では、職員も参加し地域の活動を知ることができた	他職員にもっと参加してもらうことになった。自治会長・民生委員・包括と意見交換することができた	昨年同様、他職員にも運営推進会議に参加して頂き地域との活動・繋がりを作っていく
F. 事業所の防災・災害対策	地域の方にも避難訓練に参加して頂くように発信していく	コロナ禍で避難訓練に参加していただくことは出来なかった	地域の方にも、防災訓練に参加して頂きたい	地域の方にも防災訓練に参加して頂けるように「香寺便り」で発信していく